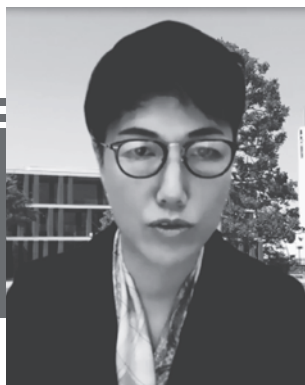


# 閉会の辞

日本語教育センター 副センター長  
観光学部 教授  
韓 志昊 氏



○藤田 先生方、ありがとうございました。それでは、これより閉会のご挨拶に移ります。閉会のご挨拶は日本語教育センター副センター長、観光学部教授の韓志昊先生より頂戴します。

○韓 藤田先生、ありがとうございます。皆様、日本語教育センター副センター長の韓志昊です。今日は、立教大学日本語教育センターシンポジウム 2020 にご参加いただきまして改めて御礼を申し上げます。全世界的に海外移動がかなわぬ状況の中で、オンラインでの開催でも実現できまして、ベトナム国家大学からミビン先生、インドネシアからルッシー先生、モンゴルの新モンゴル学園からトゴス先生の3先生をお迎えして貴重なお話を伺うことができました。

日々、教育の現場で努力されている様子や、学生の学習状況がわかり、今後、立教大学へ留学生として受け入れることに希望と責任感をより具体的に持つ機会となりました。このたびはオンラインでの開催を余儀なくされましたが、近い将来に立教大学の学習環境をご覧いただける機会が可能になることを心から願います。

ご講演いただきましたミビン先生、ルッシー先生、トゴス先生、ありがとうございました。またベトナム、インドネシア、モンゴルからご視聴いただきました皆様。貴重な時間を共有していただきありがとうございます。立教大学の留学生受け入れに向けた取り組みと努力も少し知っていただけたのでしたら幸いです。

立教大学関係者の皆さん、日本語教育センターの先生方、事務局の皆様。留学生受け入れの新時代に向けてのご尽力、今日のシンポジウムの準備も大変お疲れさまでした。本日は、将来につながる時間を共有できましたことを感謝しながら、

閉会の辞といたします。皆さん、いつもよりも希望を持って新年を迎えましょう。ありがとうございました。

○藤田 韓先生、ありがとうございました。私からは、最後に皆様へアンケートへのご協力をお願いをお伝えします。本日のシンポジウムの感想等をアンケートにぜひお寄せください。アンケートは Google フォームからご回答ください。Google フォームはこのスライドにある URL、そして今チャットでもお流ししました。もしくは、画面に表示されています QR コードからアクセスしていただけます。皆様ご回答へのご協力をよろしくお願いいたします。また、アンケートの中に、ご連絡先を入力して下さった方には、次回のシンポジウムのご案内を差し上げたいと思います。

閉会の前に恐縮ですが、事務連絡です。本日登壇されました 5 名のパネリストの先生方、そして開会と閉会のご挨拶を頂戴しました 藤先生と韓先生は、この後ウェビナーから退室せずに、このまま少々待機なさってください。よろしくお願いいたします。

それでは全て終了いたしました。これもちまして、本日のシンポジウムを終了させていただきます。皆様、本日はご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。